

消費生活情報

健康食品にご注意！

相談事例

通販で、特定保健用食品の粉末青汁を購入。血糖値を下げる効果があると表示されていた。飲用後、不快感と寒気、頭痛などで、内科を受診したところ、肝障害と診断され、一か月ほど入院した。

(50歳代・女性)
知人に勧められて3種類のサプリメントを摂取していた。数か月後、倦怠感、褐色尿、皮膚の黄染などの症状が出た。病院で薬物性肝障害と診断され入院。サプリメントの摂取を中止したところ、症状も消えた。

注意喚起

(70歳代・女性)
これらの相談は、国民生活センターのドクターメール箱に寄せられた事例です。健康食品の摂取による「薬物性肝障害」と診断された

消費生活に関する相談場所

府中市消費生活センター
(☎43-7106)
※市役所南棟にあります。
相談日 毎週月・火・木・金
曜日10時～12時、13時～16時
※祝日・年末年始は除く。

上下町民会館で消費生活出張相談

相談日 10月25日(水)13時～16時
※10月20日(金)16時までに、消費生活センターに電話で予約してください。

報告は、過去10年間で27件あります。発症頻度はまれですが、重症化することがあり、中には、健康食品と医薬品を併用していたという事例もありました。
薬を常用している高齢者が、健康食品を利用することも多いことから、併用する際は、注意が必要です。

人によっては副作用

多くの症状は特異体質によるもので、年齢、性別を問わず誰でも発症する可能性があります。使用期間は、

短期で発症することもあるれば、一年くらい経過して発症することもあるそうです。

医師からのアドバイス

次のような症状が一つまたは複数みられ、症状が続くようであれば、直ちに使用を中止し、医療機関を受診してください。

初期症状の例

倦怠感・食欲不振・発熱
・黄疸おうだん・発疹・吐き気・嘔吐・かゆみ

受診の際には、常用している医薬品とともに健康食品を使用していることも必ず伝えてください。商品名やメーカーなど、正確に伝えましょう。

平成29年10月定期募集 県営住宅入居者募集

申し込みのしおり配布開始日 10月17日(火)
配布場所 市役所整備保全課
募集内容 募集住宅、申し込み方法および申し込み資格などについては、配布資料をご覧ください。
受付期間 10月24日(火)～26日(木)
※郵送の場合は、10月26日(木)消印有効。
受け付け・問い合わせ先 県営住宅指定管理者
堀田・誠和共同企業体 住宅管理センター
(☎084-943-6622)

第12回 藤野昌言先生記念講演会

明治12年、府中でコレラが大流行したとき、自らの命を犠牲にして診療に当たられた藤野昌言先生の偉業をたたえ、感染症予防の無料講演会を開催します。
とき 10月6日(金)19時～20時30分
ところ リ・フレ
演題 変化し続ける下痢性ウイルスへの挑戦
講師 藤田保健衛生大学名誉教授 谷口孝喜さん
問い合わせ先 府中地区医師会 (☎45-3505)
または健康医療課元気づくり係 (リ・フレ内・☎47-1310)